

技術確認圃 報告書 記入例(果樹・茶・桑除草剤)

薬剤名 ○○○液剤
 県名 ●●県

作物 温州ミカン
 実施場所 ○○普及センター(○○市)

圃場/面積	作型	土質土性	品種	樹齢	備考
確認圃	露地、草生栽培	褐色森林土	□□早生	8年生	効果の発現、効果の完成と完成時の状態、再生、後発生の有無等を記入する。
慣行	露地、草生栽培	褐色森林土	□□早生	8年生	

圃場	薬剤名 薬量(水量)	処理日	処理方法	処理時の状況 雑草発生(雑草名・草丈・発生程度)	殺草経過
確認圃	○○○液剤 500mL(100L)	西暦で記入。 20○○年 6月3日	乗用管理機、 樹冠下処理	メヒシバ20cm、シロザ25cm、 スベリヒユ15cm、ギシギシ15cm、 ヨモギ30cm	散布5日後にすべての 草種が黄化。散布15日 後に地上部ほぼ枯死。
慣行	□□□ 500mL(100L)	薬剤の処理に用いた機器 と処理方法を記入する。	乗用管理機、 樹冠下処理	シロザ25cm、スベリヒユ15cm、 ギシギシ15cm、ヨモギ30cm	後にすべての 草種が黄化。散布15日 後に地上部ほぼ枯死。

乾物重、生体重のいずれかを記入。

処理後の日数を記入。

圃場	除草効果 (残草量g/m ²) 生体重						雑草調査日: 6月18日 (処理15日後)		薬害		評点
	イネ科一年生		広葉一年生		多年生雑草		総計 下段○は慣行区比	抑草期間	症状・程度		
	メヒシバ		シロ	スベリ	ギシギシ	ヨモギ					
確認圃	0				7	17	29 (70%)	30日以上	なし	A	
慣行	—										
備考	効果の確認ができていないと判断する場合は、「—」をつけ、草種名が記載されている列には必ず数値または、「—」を記入。 ・処理時の情報(散布時間、作業人数、農家のコメントなど)があれば記入する。 注)散布準備時間、散布時間を記載する場合は確認圃で実際にかかった時間を記入し、10a当たりなどに換算している場合は、○/10aのように記入する。 評点が「—」の場合、その理由を記入する。 残草が多い場合、問題となる薬害が発生した場合は詳細を記入する。 気象条件、雑草発生状況等で通常と異なることがあれば記入する。										

処理時の状況及び効果(特記事項等)を記す。
 散布準備時間: ○分、散布時間: ○分、散布人数
 農家のコメント: 慣行区に比べ除草効果が高
 今後も使用していきたい。